

【なんで?と問うても】



少し見えづらいかもしれませんが、写真には4名ほどの子どもたちが木に登っています。

11月に入ってから3年生の女の子が登り始めたのをきっかけに、今は2年生や1年生が木登りを楽しんでいます。

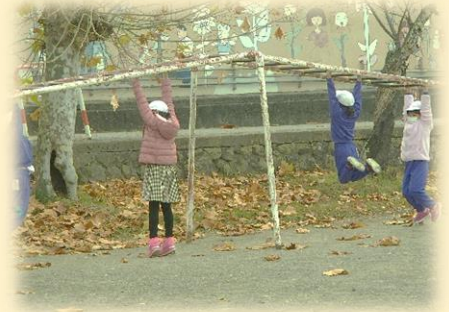
この写真からもわかりますように、なかなか高いところまで登るものですから、「先生がいない時には登りません」という約束にはしているのですが…。

まあ、担任の先生はいつもお付き合いはできませんので、たいがい私の出番となるわけです。

しかし、ここまで高い所に登られると気が気ではありません。校長室に戻って「松の木 木登り」と検索して、松の木は木登りには適しているのか

と調べてみたり、登ろうとする子どもをしっかりと見て力量をはかり、その場の勢いで無理をしていないかを見極めたりしています(はたから見ると何もしていないでぼーっと立っているように見えるかもしれませんが、結構神経を使っているのですよ(#^.^#))。

また、雲梯の方も、なかなか人気でして。こちらも「上にあがる時は先生がいるときね」という約束なので、結構私が駆り出されます。



それにしても、どうしてこんなにも子どもたちは高いところが好きなのでしょう?

それが気になって訊いてみたんです、何人かに。

しかし!!

これがなんとも歯切れが悪く、明確な回答らしいものはなくて…。

「なんでのぼりたいの?」「う〜ん」とか、何も言わずに首を傾げたり、または質問をかる〜く聞こえないふりをしたり、リアクションに困る様がありありと見られました。

つまり、「高いところにのぼる」というこの行為は子どもたちにとって理由などないのだ、ということがわかります。そして、何より私の「なんでのぼりたいの?」という質問は愚問だったなあとと思うわけで、子どもの行動にいつも「なんでだろう」とか、「どうしてだろう」とやたらと考えてしまう、頭の固さが出たな、とつくづく思われたのでありました(もっと、子どもといっしょに楽しみたいな)。

11月13日豊殿小フェスタとして「打ち上げ花火大会」が行われました。多くの方々のご協力に感謝であります。とってもきれいな花火、本当にありがとうございました。



今日は夜7時30分より豊殿小フェスタ「花火」です。夜空に豊殿みんなの希望の花火があがります。お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんもみんな今日の日を楽しみにしてきました。時刻にはそれぞれ好きな場所でスタンバイ。7時30分には一発目の瞬間をまだかまだかと待っていました。「ドーン」と上がったとき、体ごとふるえました。花火がこんな形をしていたのかとはじめて知りました。こんな近くで見れたのは初めてだったから。豊殿小学校に向けて大好きな家族や友達と夜空の「花」を見ることができたことに感謝です。(5年生)